

# 付着生物ラーバ情報

## 1 ラーバ等の出現と付着状況

直近のラーバ等の出現数は表1のとおりです。

### (1) ユウレイボヤ(通称:ハナ)

ラーバは見られていません (図2)。

### (2) キヌマトイガイ(通称:コメガキ)

ラーバは蟹田沖で36.1個体/m<sup>3</sup>、奥内沖で164.2個体/m<sup>3</sup>、久栗坂沖で158.9個体/m<sup>3</sup>、小湊沖で232.5個体/m<sup>3</sup>、川内沖で342.2個体/m<sup>3</sup>見られました (図4)。

### (3) オベリア類(通称:クサ)

クラゲは小湊沖で5.0個体/m<sup>3</sup>見られました (図3)。

### (4) アミクサ(通称:クサ)

小枝は蟹田沖で4.2個/m<sup>3</sup>見られました (図5)。

表1 ラーバ等の出現状況

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラボヤ	キヌマトイガイ	オベリア類		アミクサ	
					クラゲ	小枝	クラゲ	小枝
蟹田沖	H30.3.16	0.0	0.0	36.1	0.0	0.0	4.2	
奥内沖	H30.3.15	0.0	0.0	164.2	0.0	0.0	0.0	
久栗坂沖	H30.3.20	0.0	0.0	158.9	0.0	0.0	0.0	
小湊沖	H30.3.13	0.0	0.0	232.5	5.0	0.0	0.0	
川内沖	H30.3.20	0.0	0.0	342.2	0.0	0.0	0.0	

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

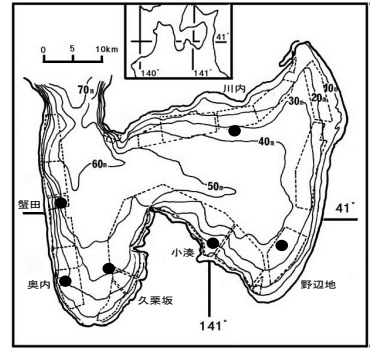


図1 ラーバ調査地点

## 2 今後の見込み

キヌマトイガイのラーバは、例年5月にかけて多く出現するため、これから付着量が増加すると思われます。

オベリア類のクラゲが出現したため、夏にかけて付着量が増加する可能性があります。

## 3 洋上籠洗浄の注意点

異常貝が多い場合、洋上籠洗浄を行うと、さらに異常貝が増え、へい死につながるので止めましょう (図6)。

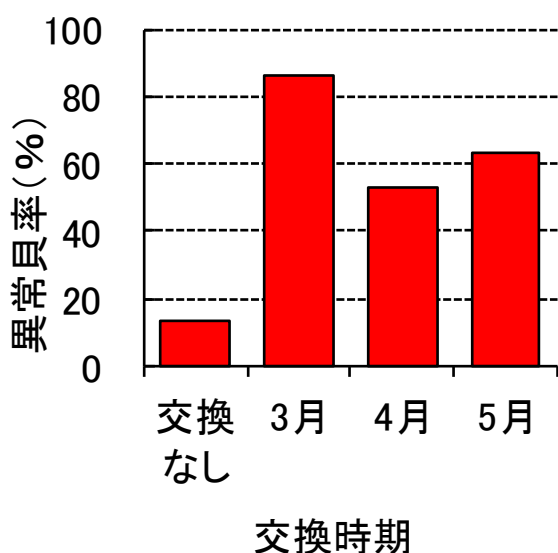


図6 付着物除去を目的としたネット交換によるホタテガイの異常貝率 (西湾6月測定)

## 4 お知らせ

今季の付着生物ラーバ情報は今回で終了です。今後のキヌマトイガイ、ムラサキイガイのラーバの出現動向については、ホタテガイ採苗速報を参考にして下さい。

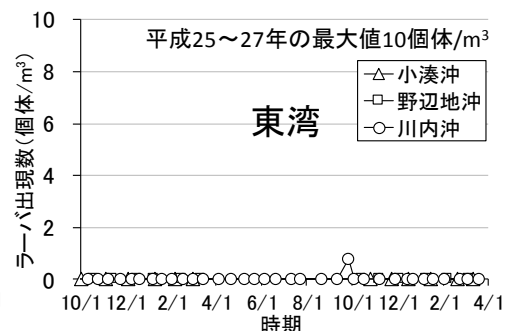
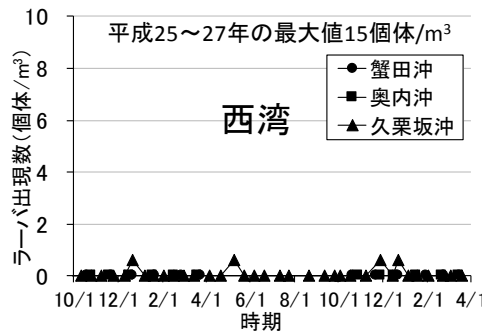


図2 ユウレイボヤ出現数の推移 (平成28年10月～平成30年3月)

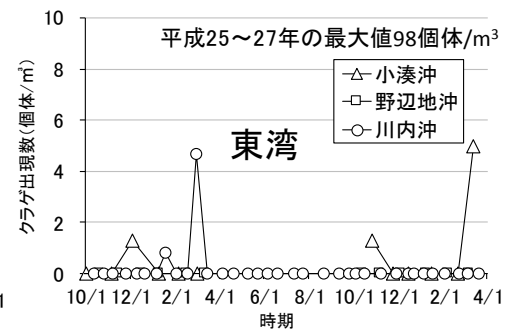


図3 オベリア類クラゲ出現数の推移 (平成28年10月～平成30年3月)

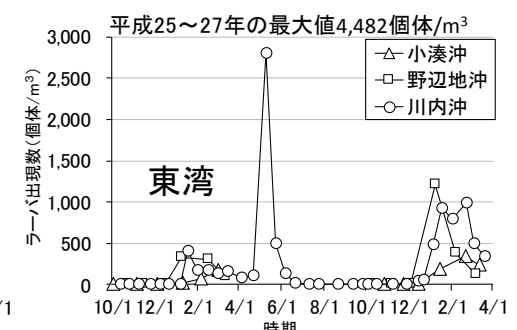
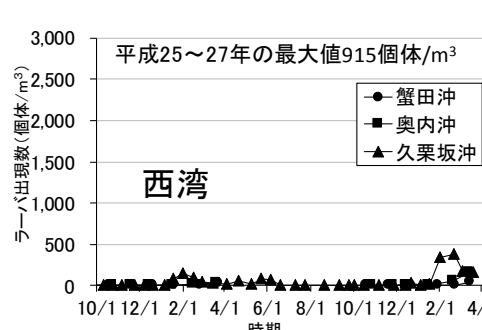


図4 キヌマトイガイラーバ出現数の推移 (平成28年10月～平成30年3月)

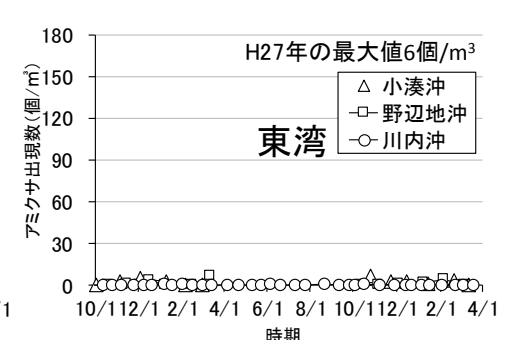
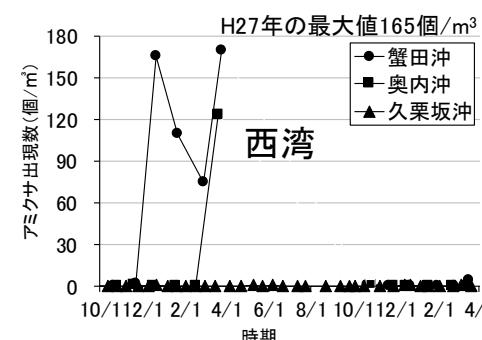


図5 アミクサ小枝出現数の推移 (平成28年10月～平成30年3月)

